

わかやま 県議会 だより

12月定例会号

No.35 平成29年(2017)
2月19日発行(年4回発行)

主な記事


2~3面 平成28年12月定例会の概要
4面 議会活動の紹介
県議会からのお知らせ

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で
「図書カード」を10名様にプレゼント!!

◎ 江戸時代に串本町沖に来航した最初のアメリカ船の名前は?

💡 ヒント: 答えは、2~3面から書いてね!!
応募方法: 4面をご覧ください。




近畿大学水産研究所白浜実験場



(株)ヤマトクリエーション和歌山

常任委員会 活動リポート

パート2

6つの常任委員会のうち、
前号に引き続き3つの委員会の
活動を紹介します!

農林水産委員会

農林水産委員会では、平成28年10月5日から6日にかけて県内調査を行いました。

白浜町の近畿大学水産研究所白浜実験場、同水産養殖種苗センター、フィッシュマンズワーフ白浜、京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所、那智勝浦町の紀州勝浦漁業協同組合、県土砂災害啓発センター、すさみ町の和歌山南漁業協同組合すさみ支所、株式会社かつら木材商店の計8か所において、現状、課題等について関係者から説明を受け、意見交換や現場の視察を行いました。

委員会では、調査で得た貴重な情報を参考にし、今後とも、所得の安定化や担い手の確保等、農林水産業の成長産業化と活力ある農山漁村の実現に取り組んでいきます。



和歌山南漁業協同組合すさみ支所

経済警察委員会

経済警察委員会では、平成28年10月12日から13日にかけて県内調査を行いました。

(株)ヤマトクリエーション和歌山(和歌山市)では、梅干しの種から生まれた再生可能なバイオマスプラスチックの開発を初め、事業の概要について調査を行いました。

田辺警察署(田辺市)では新築移転後ほぼ1年を経過しての業務の状況や射撃訓練の内容について、田辺海上保安部(田辺市)では海洋レジャーにおける安全確保対策や反捕鯨団体の活動への対応状況などを調査しました。

また、京都大学白浜水族館(白浜町)では、耐震改修後の施設と研究の概要について調査を行いました。

委員会では、今後もさまざまな調査を行い、地域の課題解決、和歌山県勢発展のため全力で取り組んでいきます。



田辺海上保安部

文教委員会

文教委員会では、平成28年11月29日に県内調査を行いました。

橋本市立あやの台小学校では、授業を見学した後、橋本市教育委員会や学校長から橋本市学力向上推進プランやスクールアクシヨンプラン、家庭学習の推進などの説明を受け、取組に対する課題や問題点などの意見交換を行いました。

また、和歌山市立藤戸台小学校でも、授業を見学した後、和歌山市教育委員会や学校長からマイテーマによる研究の推進や和歌山大学教育学部との協力・連携などの説明を受け、意見交換を行いました。

委員会では、今後とも、子供達の学力向上など、県教育の充実に取り組んでいきます。



橋本市立あやの台小学校



和歌山市立藤戸台小学校

80年ぶり

一般質問を旧県議会議事堂で!!

3月2日
岩出市

平成29年2月定例会のうち、3月2日(木)*の日程の一部を昨年復原整備された旧県議会議事堂(岩出市根来2347-22)で開催します。

*日程は予定ですので、変更されることがあります。なお、開催時間等については、県議会ホームページをご覧ください。か、県議会事務局議事課(☎073-441-3570)までお問い合わせください。



平成28年6月定例会開会の様子

議案等の議決結果

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成28年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	17件	知事及び副知事の給与その他の給付条例の一部を改正する条例等	
決算案件(//)	2件	平成27年度和歌山県歳入歳出決算の認定について等	認定
人事案件(//)	1件	和歌山県監査委員会の委員の任命につき同意を求めらるるについて	同意
その他案件(//)	6件	平成28年度建設事業施行に伴う市町村負担金について等	可決
諮問(//)	1件	退職手当の支給制限に対する審査請求に関する諮問について	知事の裁決書(案)は適当と認めらるる

会期中の主な動き ●人権・少子高齢化問題等対策特別委員会(12/14)
 ■特別委員会の開催 ●行政改革・基本計画等に関する特別委員会(12/16)

12月定例会の概要

12月2日~20日までの19日間

一般質問議員 16人

12月9日(金)	12月12日(月)	12月13日(火)	12月14日(水)
森 礼子	坂本 登	長坂 隆司	中西 峰雄
菅原 博之	雑賀 光夫	川畑 哲哉	岩田 弘彦
泉 正徳	中本 浩精	岩井 弘次	濱口 太史
鈴木 太雄	堀 龍雄	奥村 規子	前芝 雅嗣

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は次のとおりです。(要約抜粋)



世界遺産に追加登録された關雞神社(田辺市)

児童相談所の機能強化

問 警察との「児童虐待が疑われる児童の情報共有に関する協定」についてどのように考えているのか。

答 県においては、子供の安全確保を最優先に児童相談所と警察との連携体制の強化に取り組んできたところです。虐待の兆候を見逃すことなく適切な初期対応を実施できるよう、「情報共有に関する協定」を平成28年12月9日付けで締結し、さらなる情報共有の徹底を図ってまいります。

世界遺産緊急保全対策事業の取組

問 世界遺産登録から10年経過し、登録範囲が追加されたことで、今後の維持管理費の増大も想定される。緊急保全対策事業のより円滑な取組が重要ではないか。

答 国の現行制度では対象外の総事業費200万円未満の小規模修繕や緩衝地帯を含めた保全を対象に、県独自で計画的に補助を行ってまいりました。今後も、物的に被害を及ぼす緊急性の高いところの復旧、より高い保全効果が期待される維持管理など、計画的に支援してまいります。

クルーズ船誘致の取組

問 大型クルーズ船の寄港に各自自治体が熱心な誘致合戦を繰り広げているが、本県の具体的な取組やターゲットはどうか。

答 先般、クルーズ船誘致チームを立ち上げました。寄港実績のある国内クルーズ船や欧米の外航クルーズ船の寄港拡大、急増している東アジア域内発着のクルーズ船誘致にも積極的に取り組まれます。さらに、誘致活動を強化するためクルーズ振興協議会を立ち上げて各市町村との連携を図り、外航クルーズ船運航責任者等を招くとともに、泊地拡幅などの港湾機能の強化にも取り組んでまいります。



新宮港を出航するクルーズ船(飛鳥II)

国民健康保険の市町村の自立性等

問 平成30年から都道府県化が行われる。一般会計から繰り入れて保険料の引き下げを行うことは、市町村の自主性、自立性の問題であるが、どうか。

答 市町村が国民健康保険特別会計に対し、一般会計から赤字解消のための法定外繰入れを行うことは、国民健康保険の被保険者以外の住民の方にも負担を求めることとなるため、本来、解消すべきであると考えます。

海外からの介護人材の受入れ

問 法改正により介護技術習得のため日本に来られる外国人がふえらると予想されるが、本県を選んでもらえるような施策を打つべきではないか。

答 現在、外国人の受入れに関しては、経済連携協定に基づく外国人介護福祉士候補者の受入れや研修費用について財政支援を行う等の取組をしています。技能実習制度についても、本制度の趣旨を踏まえた上で、介護事業者から外国人研修生の受入れに対する意見等を聞きながら、必要な対応を検討してまいります。

紀淡海峡ルート

問 紀淡海峡ルートの必要性和実現に向けた取組はどうか。

答 本ルートの実現は、関西・日本の発展の要となる重要なプロジェクトです。平成28年5月には、国に対し調査の再開や紀淡連絡道路の計画路線への格上げなどを提案しました。また、平成27年9月策定の和歌山県国土強靱化計画に位置付けるとともに、本年度策定の和歌山県長期総合計画にも盛り込むこととしています。引き続き、国に対し実現を粘り強く働きかけるとともに、県民への情報発信など、機運の醸成に取り組んでまいります。



構想図

未来遺産への登録

問 千里の浜の保護活動の「プロジェクト未来遺産」への登録提案に対する知事の感想と所見はどうか。

答 みなべ町の千里の浜は、本州で最もアカウミガメの産卵密度の高い砂浜として知られ、みなべウミガメ研究班が調査・保護活動を続けており、自然環境保護活動の模範とも言えます。プロジェクト未来遺産への登録申請は地域の団体が主体となるため、地元一丸となって取り組んでもらい、それを支援したいと思っています。



アカウミガメ

かつらぎ西部公園(仮称)の整備

問 かつらぎ町が実施している公園整備の早期実現のため、どのような取組をしているのか。

答 当該公園は、国の社会資本整備総合交付金を活用して整備が進められていますが、国家的関連事業への予算重点配分などから、かつらぎ町の要望額に対し十分な配分がされていない結果になったと承知しており、十分な予算配分がされるように、かつらぎ町と連携し、国に働きかけてまいります。

平成27年度決算議案を認定



決算特別委員会では、平成27年度一般会計決算(歳入額:5800億余円、歳出額:5715億余円)のほか12特別会計の決算、及び県立こころの医療センター事業会計など3事業会計に係る公営企業決算について、平成28年11月7日から9日まで審査を行い、審査の結果、両決算議案とも認定すべきものと決しました。12月19日の本会議において、谷洋一委員長から決算特別委員会における審査の経過・結果について報告を行い、採決の結果、決算議案を認定しました。

決算特別委員会

定数13人

- ◎谷 洋一
- 藤山 将材
- 堀 龍雄
- 中西 峰雄
- 森 礼子
- 泉 正徳
- 中村 裕一
- ◎委員長
- 副委員長
- 吉井 和視
- 中本 浩精
- 坂本 登
- 片桐 章浩
- 松坂 英樹
- 中 拓哉

項目	件数	概要	結果
意見書	6件	平成29年度地方交付税の総額確保等を求める意見書	可決
		紀伊山地における国直轄による大規模土砂災害対策事業の強力な推進を求める意見書	
		「米政策改革」に対する稲作農家の不安を払拭し経営の安定と担い手経営の再生産の確保を求める意見書	
		意見書に対する関係行政庁等の誠実な処理を義務付けることを求める意見書	
		ホームドアの設置と「内方線付き点状ブロック」の整備促進等を求める意見書	
地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備のための財源確保を求める意見書			

最先端技術の利活用

問 最先端技術の利活用は、本県の発展に大きく寄与する分野であると思うが、県の考えや取組はどうか。

答 平成27年に策定した第2次和歌山県産業技術基本計画で、IT・ソフトウェア・通信技術分野や航空・宇宙分野を戦略的分野として新たに位置づけ、コーディネーターの配置や先駆的産業技術研究開発支援事業、工業技術センターにおける新技術開発支援体制の充実等により県内企業の最先端技術の開発を支援していきます。



県工業技術センター

今後の本県の教育

問 これから道徳の教科化が実施され、いよいよ次期学習指導要領での教育が開始される。今後の和歌山県教育の方向についての所見を伺いたい。

答 本県の教育については、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」を基盤として人間としての総合力を備えた人材の育成をめざしています。そのため、現在策定を進めている新長期総合計画においても児童生徒が主体的に学ぶ授業や補充学習の充実、道徳教育・ふるさと教育の推進、計画的な体力づくり等をかけがえることを検討しています。

レイディ・ワシントン号

問 レイディ・ワシントン号が串本町大島沖に来航したことを裏付ける航海日誌が見つかったことについての感想はどうか。

答 日本が鎖国政策をとっていた当時、既にレイディ・ワシントン号が北西航路を開拓してアメリカと中国が貿易を行っていたなど、地球規模で物事を考えることと大変興味のあることが出てきます。子供たちが新たな歴史に触れることで、定説を鵜呑みにせず自分自身で物事を深く考えることの大切さに気づかされる、意義深い資料であると考えています。

レイディ・ワシントン号
ペリーの黒船より62年も前に日本に
来航した最初のアメリカ船



レイディ・ワシントン号模型
(串本町提供)

砂防事業の促進

問 紀伊半島大水害が発生した土砂崩壊は、規模が大きく広範囲であり、復旧には多額の予算と高度な技術力が必要である。今後どう事業を促進していくのか。

答 今年度までの国の直轄砂防事業の実施で安全度がかなり確保されつつありますが、まだ完成ではなく、さらなる対策が必要です。本県側はもちろん、奈良県側の早期完成についても国土交通省にお願いしており、本県だけでは難しい事業は、国直轄の高度な技術で復旧してもらうよう働きかけていきます。



砂防ダム(日高川町皆瀬地内)

小中学校の学力の向上

問 平成28年の全国学力・学習状況調査で、和歌山県は中学校数学Aを除き、平均正答率が全て全国平均を下回っていた。学力向上のための今後の取組はどうか。

答 学力向上については、学力向上対策中期計画に基づき、取組を進めています。学校では、授業の目標の提示、考えを表現する場面の設定、学習内容の定着の確認をまとめた「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底するとともに、子供一人一人のつまづきに応じた補充学習に取り組んでいます。

幼児教育の充実と新たな推進体制

問 幼児教育の充実について誰がリーダーシップをとるのか、明確な新しい体制づくりが必要ではないか。

答 保・幼・小の関係者が、子供たちの学びを連続したものと捉えられるようリーフレットを作成して研修会等で活用していきます。また、就学前教育の観点から新たな体制をつくり、幼児教育の充実に取り組んでいきます。



すみだこども園(橋本市)

ため池の安全対策

問 ため池改修加速化計画の進展状況はどうか。

答 平成24年度にため池改修加速化計画を策定し、比較的規模の大きいかんがい受益面積5ヘクタール以上かつ貯水量1000立方メートル以上の772カ所のうち、223カ所の池について、県が事業主体となり改修に取り組んでいます。平成28年度現在では49カ所で改修に着手しており、平成38年度までに全て整備する計画で進めています。

Information

県議会からのお知らせ

テレビ・ラジオ放送

定例会の質問と答弁の様子や委員会の審議状況、議案の審議結果などをお知らせしています。

テレビ テレビ和歌山(WTV)

県議会だより(予定) 開会、質問、閉会日の22時30分から25分間放送 (2月定例会の放送 2/21、3/2、3、6~10、16)

県議会手話だより(予定) 閉会日の約1週間後に、22時30分から30分間放送 (2月定例会の放送 3/27)

ラジオ 和歌山放送(WBS)

県議会ダイジェスト(予定) 開会、質問、閉会日の21時30分から15~30分間放送 (2月定例会の放送 2/21、3/2、3、6~10、16)

県議会ホームページ

和歌山県議会

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/200100/www/>

● 県議会のしくみや主な動き、議員紹介、議会日程、質問項目、本会議録など様々な情報を掲載しています。

● 議会開会中は、質問など本会議場での模様を生中継(3/2を除く)しています。また、この中継録画やテレビ広報番組の録画をいつでも見ることができます。

傍聴してみませんか

- 本会議は、申込みなしで傍聴できます。
- 委員会の傍聴は、事前の申込みが必要です。

平成29年2月定例会 会期日程(予定)

本会議	2月21日(火)
本会議・常任委員会	2月23日(木)
本会議(質問)	3月 2日(木)・3日(金)・6日(月)~8日(水)
予算特別委員会	3月 9日(木)・10日(金)
常任委員会	3月13日(月)・14日(火)
本会議	3月15日(水)・16日(木)

※3/2は旧県議会議事堂(岩出市)で開催予定
手話通訳者・要約筆記者をご希望の方は、事前に議会事務局までお申し込み下さい。ただし、申込日によっては、ご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

「点字版、テープ・CD版」の案内

本紙の点字版、テープ・CD版(ボランティアの方による朗読)を作成しています。
なお、テープ版については、平成28年12月定例会号をもって、取り扱いを終了させていただきます。

クイズ&プレゼント

【応募方法】 ハガキへ、①クイズの答え(レイディ・○○○○○号)、②〒住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥「わかやま県議会だより」のご感想を記入のうえ、**3月10日(金)(消印有効)**までにご応募ください。

【応募先】 〒640-8585(住所不要) 県議会事務局「クイズ&プレゼント」係

※当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
※皆様の個人情報、和歌山県個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。



総務省にて



財務省にて

Topics

議会活動の紹介

意見書を早期議決し、関係省等へ提出

平成29年度の国の予算編成に関し、地方にとって非常に厳しい内容が検討されていることを受け、地方の一般財源総額の確保等について強く求める「平成29年度地方交付税の総額確保等を求める意見書」を通常の意見書採決時期よりも早め、平成28年12月2日に全会一致で可決しました。

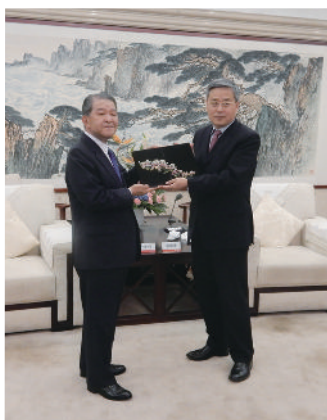
これを受け、12月5日には、議長代理として山下直也議員と岸本健議員が総務省、財務省及び県選出国会議員等に同意見書を提出し、和歌山県の現状を訴えま

マレーシア・中国訪問

浅井修一郎議長と岩田弘彦議員は、仁坂知事とともに平成28年11月14日から18日までの日程でマレーシアと中国を訪問しました。

マレーシアでは、日本大使館と和歌山県の共催で実施した「和歌山プロモーション」に出席、約200名の関係者が参加するなか、県産品のPRをするとともに参加者との交流を深めました。

また、中国では、郭樹清山東省長と会談を行い、友好提携後、様々な分野での交流において大きな成果を上げていますが、今後とも双方方向の交流を深化させていくことを確認しました。



浅井議長(左)と郭樹清山東省長



和歌山プロモーションでのみかんのPR

アルゼンチン・カナダ訪問

服部一朗議長、谷洋一議員、藤山将材議員、濱口太史議員、川畑哲哉議員の5名の議員は、下副知事とともに、平成28年10月21日から27日までの日程でアルゼンチンと和歌山県人会創立50周年記念式典に出席するとともにカナダと和歌山県人会を訪問しました。

両国県人会の方々と交流を図り、激励を行うとともに、今後ともふるさと和歌山県との友好の架け橋になっていただくようお願いしました。



(上)アルゼンチンと和歌山県人会創立50周年記念式典



(右)カナダ・日系文化会館にて

関西広域連合議会 11月臨時会



岩井弘次議員

関西広域連合議会 11月臨時会が、平成28年11月17日大阪市内で開催され、本県議会からは、山田正彦議員、尾崎太郎議員、立谷誠一議員、岩井

弘次議員の4名が出席しました。
本会議の一般質問においては、岩井弘次議員が、「原子力防災の推進」「国の出先機関等の対策」「将来像」について質問しました。特に、「将来像」については、「広域連合は、中央集権体制と東京一極集中を是正し、地域が主体的に地域の広域課題に対応できる分権型社会の実現を目指すことを設立の眼目としているが、連合内においても、各構成団体間で人口、財政力など体力差・格差がある。広域連合においては、構成団体すべてに公平公正な利害調整がなされるべきが、あるべき将来像と考えるが、将来像についてどう考えるか」とたずねました。

本質問に対し、井戸連合長(兵庫県知事)からは、「将来像については、広域連合内で打ち出す中とならないことを基本姿勢として打ち出すため、防災は兵庫、農林とインフラは和歌山など業務首都と位置付けしているところ。広域連合自身は、計画実現の手段を持ち合わせていないが、高い方向付けをすることが、関西全体の意思統一と、それに向かっている総力結果の旗印となる」と考える」などの答弁がありました。